

養護採点基準。

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点		
1	(a) 換気	温度 もよい。	各3×7	36	
	(b) 温度	換気 もよい。			
	(c) まぶしさ				
	(d) 雑用水				
	(e) 保温				
	(f) 照明				
	(g) 備品				
2	給水栓水については、遊離残留塩素が0.1mg/l以上保持されていること。ただし、水源が病原生物によって著しく汚染されるおそれのある場合には、遊離残留塩素が0.2mg/l以上保持されていること。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×3		
	給水栓水については、外観、臭気、味等に異常がないこと。 冷水器等飲料水を貯留する給水器具から供給されている水についても、給水栓水と同様に管理されていること。				
2	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の乱れ ・いじめ ・不登校 ・メンタルヘルスに関する課題 ・アレルギー疾患 ・性の問題行動 ・薬物乱用 ・感染症 	5つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各3×5	15	
3	(1)	(ア) 健康の保持増進	各2×8	16	
		(イ) 保健管理			
		(ウ) 安全の確保			
	(エ) 学校教育				
	(2)	(オ) 心理的外傷			
		(カ) 回復			
		(キ) 支援			
(3)	(ク) 五	5 もよい。			

養護採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 【例】	採 点 上 の 注 意	配 点	
4	歯冠部を持つように注意し、歯根を持たないようにする。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 4	16
	脱臼した歯が泥などで汚れた場合はこすらず、洗すぎない。			
	脱臼した歯を乾燥させないよう「市販の保存液」、あるいは「牛乳」「生理食塩水」に保存する。			
	患部を冷やしすぎると口が開きづらくなり、治療の妨げとなるので、冷やしすぎない。			
5	<ul style="list-style-type: none"> ・まず冷却すること。 ・痛みや腫れ、皮下出血、指が伸びない、曲がらないなどの症状があれば、指が曲がってしまったり、動きが悪くなったりする場合がありますので整形外科を受診する必要があること。 ・打撲だけの場合もあるが、靭帯損傷や腱断裂、脱臼、骨折を起こしている場合も多いので、軽く見ず、指を引っ張って伸ばすなどのことをして、放置してはいけないこと。 ・痛みが取れるまでは、運動はしないようにすること。 ・患部を心臓より高くしておくこと。 ・固定方法には、割り箸、厚紙などで固定する方法や、となりの指と固定する方法があること。 	5つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 6 × 5	30
6	(1) 上大静脈	僧帽弁、二尖弁 もよい。	各 3 × 6	18
	(2) 右心房			
	(3) 大動脈			
	(4) 肺動脈			
	(5) 左房室弁			
	(6) 左心室			

養護採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
7	1 管理職には、朝の健康観察結果やインフルエンザの流行が考えられることと、予防対策をとる必要があることを報告する。 学級担任等には、インフルエンザ予防の保健指導をするよう依頼する。また、クラスの全保護者へ流行状況と予防対策について、情報提供し協力を求めるよう助言する。 教職員には、インフルエンザを疑わせる生徒は保健室へ送致することや教育活動中のきめ細かな健康観察を依頼する。また、インフルエンザに関する啓発資料等を配付する。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。	各7×3	
	番号 状況と懸念される背景要因			
	4 毎週休み明けにだるさを訴えているため、起立性調節障害、心身症、小児科疾患等の可能性がある。また、背景として、生活環境の問題もあるのではないかと考えられる。			45
	2 9 毎週火曜日に腹痛により早退しているため、内科的疾患、心身症、便秘等の可能性がある。また、背景として、火曜日の授業や部活動における人間関係等の問題もあるのではないかと考えられる。	順序は問わない。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。	各8×3	
11 1月19日月曜日から捻挫を理由にして欠席しているため、捻挫の状況を確認する必要があるが、心身症やいじめによる可能性もある。また、背景として、部活動における人間関係等の問題もあるのではないかと考えられる。				
8	心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっていること。		各8×3	
	毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。		24
	毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。			